

消防団員の犠牲防げ

水門閉鎖「行かせられぬ」

東日本大震災で津波に襲われた岩手、宮城、福島3県では253人の消防団員が死亡・不明になった。水門を閉めに行きたくても被災した団員が多かった。他に仕事をもちながら地域防災の最前線を支える消防団員は全国で88万人余り。その安全をどう守るのか。各地で対策が始まり、総務省消防庁の検討会も25日に発足する。

(総務省消防庁調べ)

死者	行方不明者
岩手	2人
宮城	10人
福島	0人
計	12人

震災で死亡・不明253人



高さ約8mの防潮堤に設けられた陸間の門扉は津波で押し流されて跡形もない。岩手県大船渡市三陸町越喜来

岩手県大船渡市の財政課職員、大津泉さん(36)は地震発生時、市の三陸支所にいた。確定申告の事務が忙しく、たまたま自宅近くの支所に応援に来ていた。揺れを感じ、背広姿のまま数百メートル離れた越喜来港に車を飛ばした。消防団第11分団に所属、津波が来れば自宅近くの水門と陸間を閉鎖するのが任務だ。水路は水門を、道路などは陸間と呼ばれるゲートを閉める。

消防団員の被災状況

支所からは現地が近く、5カ所の水門を10分足らずで閉鎖。一人暮らしのお年寄り宅などを回り、避難を確保するうち、津波が迫ってきたため高台へ逃げた。同時刻、10カ所余りの磐石海岸近くの泊漁港。第4分団第8部長の大和田佳伸さん(41)は、仲間とともに五つの陸間を閉め終わっていた。だが、六つ目の水門に手を取った。地震で器具

がゆがんだせいかわらぬ。その場で十数分。津波にのみ込まれた。海底に引きずり込まれ、かすかに明るい方へ向かって手をかくと海面に顔が出た。流れてきた人家の屋根

によい登って漂流し、数十分後に助けられた。大津さんも、大和田さんも生死の境目で作業を続けていた。「水門閉鎖に若い者を行かせるわけにはいかない。万が一があったら、家族に顔向けができない」と大和田さんは言う。

大津さんの分団では仲間

が水門に向かう途中で流され、市全体では3人の団員が亡くなった。「危険過ぎる任務だとわかった。でも、消防団がやらなければだれがやるのか」

消防団員による水門閉鎖訓練は、チリなど遠隔地で起きた津波や台風の高潮など時間に余裕がある想定が多く、いつ到達するか不明の津波は経験がなかった。

岩手県は12月に住民の避難態勢の見直し議論を始めた。短時間で水門・陸間閉鎖や住民避難をどうするかは重い課題だ。

自動化・廃止…進む対策

東海・東南海・南海の連動地震が想定される西日本の太平洋沿岸では、対策が進んでいる地域がある。最大13mの津波を想定する高知県、3年前に「県南海地震による災害に強い地域社会づくり条例」を制定。水門の閉鎖自動化と、防波堤

の内外を行き来できる階段やスロープを整備し、陸間の閉鎖を進めている。宮戸市の室津港にある陸間(幅2m、高さ1m)は10月、コンクリートで開口部を固め、廃止した。市消防団室戸分団長の浜田修一さん(60)は「東日本大震災

で津波の恐ろしさを実感した。陸間が無ければ、閉めに行く必要もない。ありがたいことだ」。計1173基あった陸間のうち3月末までに101基を廃止した。市町村や地元漁協などと協議し、来年度から3年間で約50に10

0基余りを廃止する。通常時は閉めておく「原則閉鎖」も徹底。今年度中に287基を閉鎖する。消防団などと来年度以降に交わす協定・契約書には「身の危険を感じる地震が起きた際は、水門・陸間の閉鎖作業は行わない」と明記することも検討中だ。

同県港湾・海岸課の依岡隆課長補佐は「東日本大震災で対策を加速しなければ」と思った。消防団員が使命感で命を落とす不幸な事故を防ぎたい。どうしても廃止や閉鎖ができないところでは、新たな住民の避難対策を地元と協議する。最大8・8mの津波を想定する和歌山県では8月までに、全市町村でこれまでの避難場所が適切かどうかなどを緊急点検した。

その結果、消防団員が水門を閉めてから指定の避難場所まで、津波到達想定時間に乗り遅るのが難しいところだ。46カ所あった。こうした水門は「閉鎖せずに逃げ

る」という方針を操作者に年内に通知。できるだけ早く自動化を進める。

25日にスタートする総務省消防庁の検討会は研究者、宮城県気仙沼市の消防団長や岩手県宮古市長、高知県の危機管理部長ら18人が参加する。消防団の安全対策は今年度中に結論を出す予定だ。

同庁の分析によると、無訓練を携帯していなかったため、予想される津波の高さが更新されたのを知らなかつたり、担当の水門閉鎖が完了したことが伝わらなかつたりして、被災した団員もいるという。

検討会では、①使用頻度の低い陸間の廃止、水門の遠隔操作化②津波警報が出た場合の消防団による水門・陸間の閉鎖作業の禁止、などをテーマに話し合う。(神田誠司、菅沼栄一郎)

消防庁検討会 年度内に結論